

ハマウォーマーマット (HWM-4)

【警告】

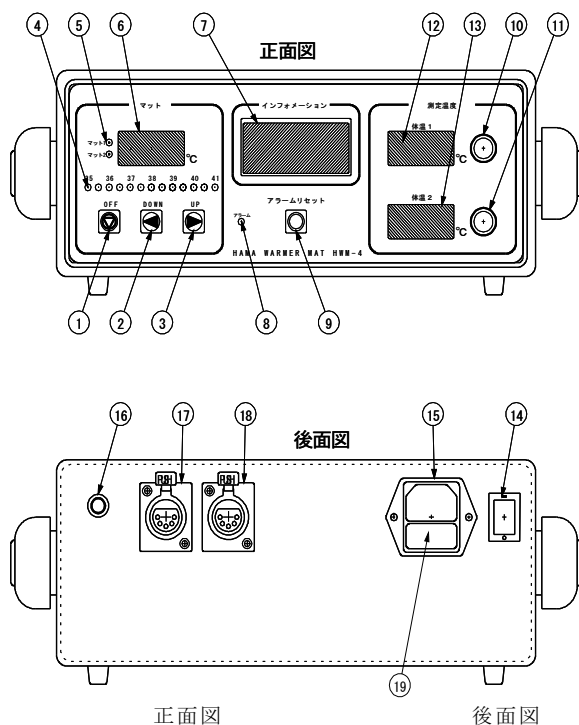
- マット温度を必要以上に高く設定しないこと。
「低温熱傷を起こす恐れがあります。」
- マットと患者の接触部位での湿潤や過度の温度上昇があると、圧迫壊死（褥瘡）のリスクが高まるので長時間の手術の場合は除圧等の予防措置をとること。
- マットは手術台側と患者側が有るので、正しい方向に設置すること。

【禁忌・禁止】

- マット並びにケーブルを引っ張りたりして無理な力をかけないこと。
- マットに注射針等で穴を開けないよう注意すること。
- マットを穴が開いた状態、破れた状態で使用しないこと。
「水分が浸入すると、故障の原因になる恐れがあります。」
- マットをオートクレーブしないこと。
- マットの上に重量物を置いた状態で保管しないこと。

【形状・構造及び原理等】

<本体>



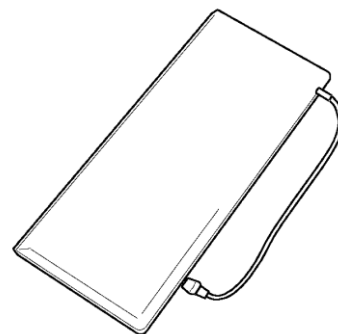
- | | |
|-----------------------|----------------|
| ① 加温停止スイッチ (OFF) | ⑩ ブローブ1接続部 |
| ② 温度設定スイッチ (DOWN) | ⑪ ブローブ2接続部 |
| ③ 温度設定スイッチ (UP) | ⑫ ブローブ1体温表示部 |
| ④ 設定温度表示ランプ | ⑬ ブローブ2体温表示部 |
| ⑤ 制御マット表示部 | ⑭ 電源スイッチ |
| ⑥ マット温度表示部 | ⑮ ヒューズ付ACインレット |
| ⑦ アラーム内容表示部 | ⑯ ブレーカー |
| ⑧ アラームランプ | ⑰ マット1コネクタ |
| ⑨ アラームブザー
一時停止スイッチ | ⑱ マット2コネクタ |
| | ⑲ ヒューズ (2本入り) |

外形寸法：272×100×300mm (幅×高さ×奥行き)

重 量：2.4Kg

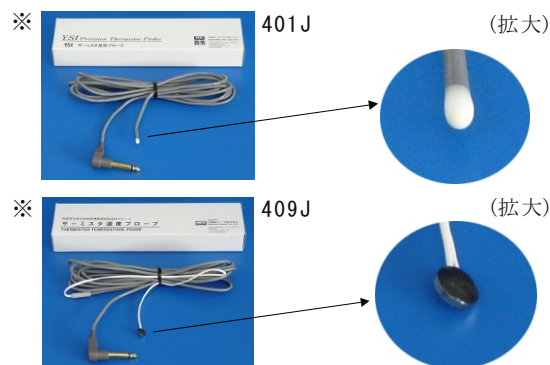
定格電圧：AC100±10V (50/60Hz)

<マット>



外形寸法	重量
(大) 450×1300mm	(大) 1.4Kg
(小) 450× 650mm	(小) 0.8Kg

<サーミスタ体温プローブ>



外形寸法	重量
401J：4.8φ×8mm (直径×長さ)	401J：85g
409J：10 φ×4mm (直径×厚み)	409J：85g

<動作原理>

本器具のマット内ヒーターはフィルム状カーボンヒーターで、いわゆる面状発熱体の構造をしており、その発熱量は平面に均一に発熱することを特徴としている。また、X線透過性の性質を持っており、手術時のX線撮影を妨げない。このヒーターに供給する電圧は安全な低電圧であり、バイタルサインモニター等に障害を与えない直流24Vを使用している。マット内に組み込まれたサーミスタセンサーによりマット温度測定を行い、測定した温度が設定温度になるよう、マイクロプロセッサがヒーターの最適制御を行う。

マット温の異常上昇に対しては、マイクロプロセッサの監視によりマットヒーターへの電流供給を遮断する機構とマット内のサーモスタットによる電流遮断を行う機構を備える。また、マットに供給する電流が規定値をオーバーすると、本体後面のブレーカーが電流供給を遮断する機構も備えている。

Cf型装着部を持つ体温測定端子にサーミスタプローブを接続する事により、体温表示を行うことが出来る。体温表示は1と2の2チャンネルがあり、例えば直腸温と皮膚温を同時に表示することが出来る。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用目的・効果又は効果】

手術中の患者の体温低下を防ぎ、生理的な体温を保持する事を目的とする。

【品目仕様等】

手術中の患者の体温低下を防ぎ、生理的な体温を保持する事を目的とする。

温度設定範囲：35℃から41℃まで0.5℃単位

温度表示範囲：13.0℃から50.0℃まで0.1℃単位

温度表示：マット温、体温1、体温2

【操作方法又は使用方法等】

- (1)電源スイッチがOFF「O」側になっている事を確認します。
- (2)マットを本体後面のマットコネクタ1又は2に確実に接続します。（両方のコネクタに2枚のマットを接続することも出来ます。）
- (3)本体後面のAC電源入力コネクタに付属の専用3P電源ケーブルを接続します。
- (4)専用3P電源ケーブルをAC100Vの接地型コンセントに確実に差込みます。
- (5)体温測定のために応じてYSIサーミスタ温度プローブをプローブ1、プローブ2の接続部に接続します。
- (6)本体後面の電源スイッチをON「I」側にし、電源を投入します。
- (7)全表示器が点灯した後、マット温度表示器がOFFを表示します。
- (8)マット温度設定スイッチを押して、温度設定表示ランプを希望するマット温度表示にします。（この時点よりマット温度の制御を開始します。）
- (9)本器の使用を終了する場合は、加温停止スイッチを押してヒーター電流を停止してから、電源スイッチをOFF「O」側にします。

【使用上の注意】

- 患者の状態に合わせて、温度設定をすること。特に、高温設定及び長時間使用の場合には、状況に応じた範囲で使用する。
- 使用前にマットやケーブルや温度プローブに傷や曲がりや切れ目がない事を確認すること。
- 本器は、交流電源100V±10V・50/60Hzで使用する。過剰電圧や低電圧では機器の作動異常や故障の原因となります。」
- ※※ ●マットを極端に折り曲げて使用しないこと。「機器の作動異常や故障の原因となります」
- マットのケーブルを極端に折り曲げたりしないこと。「断線の原因になります。」
- マットケーブルを取外す場合は必ずコネクタの本体を持ち、本体側コネクタの「PUSH」ボタンを押しながら引き抜くこと。「ロックを外さないで引き抜くと、本体が引張られ危険です。」
- ※※ ●マットを極端に折り曲げて保管しないこと。「マット内ヒーターが損傷し故障の原因となります。」
- 水のかからない場所に設置して使用すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】**1. 使用条件**

周囲温度：10～40℃

相対湿度：10～90%

気圧：70 hPa～1060 hPa

2. 保管条件

周囲温度：0～50℃

相対湿度：10～90%

気圧：70 hPa～1060 hPa

3. 耐用期間

本体：6年

マット：4年

【保守・点検に係る事項】

- 本体及びマットは必ず定期点検を行うこと。
- 本器を使用前にマット温度が設定温度まで上昇する事を確認すること。
- 温度プローブは定期的に校正すること。

【包装】

1台単位で梱包

【主要文献及び文献請求先】

※株式会社イノメディックス 本郷営業所 販売促進グループ

〒113-0034 東京都文京区湯島2-16-11

電話 03-3815-8922

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】**製造販売業者**

※株式会社イノメディックス

〒338-0011 埼玉県さいたま市中央区新中里5-22-2

電話 048-822-7661

製造業者

※株式会社イノメディックス